

ルサフィールドハウスは



知床半島先端部の自然の素晴らしさ、知床の海と陸の生態系のつながり、人々の生活と密接に関わってきた知床の「海」の価値についてお伝えし、世界自然遺産である知床の価値を広く普及する施設です。あわせて世界自然遺産地域である知床半島先端部を利用する方々に対して、ルール・マナーのレクチャーを行うとともに、先端部での事故防止と環境保全を図ることを目的としています。

Why RUSA? ルサって

アイヌ語 **ル・エ・シャニ**

浜へ・そこから・出ていくところ
の意味が語源



240mの低標高の稜線から
海岸に至る開けた地形となっています

アイヌが半島を行き来する通行路として利用した場所。
その地形から半島随一の風の通り道にもなっている。



知床国立公園
知床世界自然遺産の入口です

アクセス

羅臼市街地から 約16km  約30分



運転中は野生動物に
気をつけてね！



道道87号
知床公園羅臼線を
相泊方面へ直進！



知床世界遺産 ルサフィールドハウス

〒086-1813
北海道目梨郡羅臼町北浜8番地
TEL 0153-89-2722
開館 5月1日～10月31日
9:00～17:00
休館日 毎週火曜日
shiretoko-whc.jp/rfh/



Shiretoko World Heritage

Rusa Field House

知床世界遺産 ルサフィールドハウス

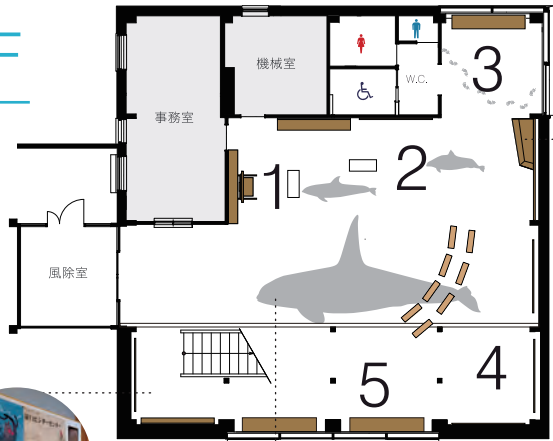


館内紹介



クライミングウォール

1F



環境への取り組みやイベント紹介

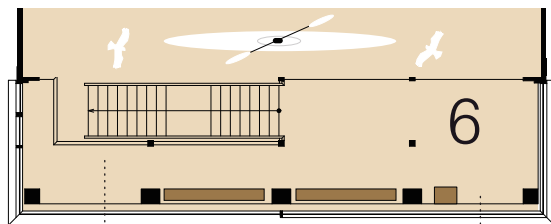


原寸大のシャチイラスト



着ぐるみ

2F



ソファ設置



晴れた日は国後島遠望



海側に大きく開けた窓

1



レクチャー映像

約 11 分間、知床の四季の映像を随時ご覧いただけます。

2



先端部への装備

知床半島先端部地区を目指す方に、リスク回避のための情報提供、ヒグマ対策アイテムのレンタルを実施しています。

3



ルサの歴史

松浦武四郎の描いた知床半島の地図、アイヌの古道やルサ地区で発掘された遺跡を紹介しています。

4



アイヌ文化と漁業

松浦武四郎の探検記「知床日誌」から、知床におけるアイヌの暮らしや現代の羅臼の漁業を紹介しています。

5



知床の海鳥

施設周辺で観察できる海鳥を紹介しています。常設の双眼鏡で海鳥観察が可能です。

6



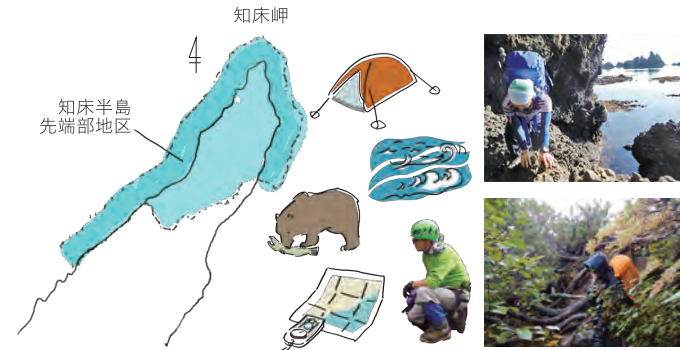
知床の海棲哺乳類

常設の望遠鏡で、ゆっくりとクジラやイルカの観察ができます。

知床半島
先端部地区を
目指す方へ

知床半島先端部地区は
利用のための整備はしていません

過酷な条件に対処できる高度な技術、体力、判断力が必要であり、すべての行動は自己責任です。



ルールとマナーを知って、自然保護とリスク軽減

知床半島先端部地区利用の心得

自然保護やリスク軽減の観点から、レクリエーション目的で知床半島先端部を利用する人が守るべきルールやマナーを定めています。

詳細は
web サイトへ

シレココ



<https://www.env.go.jp/park/shiretoko/guide/sirecoco/>

ルサ フィールドハウスで できること

- 危険箇所のリスク回避情報の提供
- ヒグマ情報の提供
- ヒグマ対策アイテムレンタル



フードコンテナ

クマスプレー

レンタルは有料。
使用説明に
15-20 分程度
かかります。

厳しい
自然条件！



ヒグマの
高密度生息地！



レクチャーは個別に実施しています



これから
出発する人

現在
計画中の人

先端部地区を目指す方は
お立ち寄りください

